

● 平成 28 年度市老協合同入職式

去る 4 月 9 日、みやこめっせにおいて、当協議会としては初めての「合同入職式」を開催致しました。

この合同入職式は、新入職員のモチベーションを高め、各施設間の連携を深めることなどにより、離職防止と定着促進を図ることを目的とし、会員施設の平成 28 年度新規採用者と平成 27 年度中途採用者を合せて入職者 207 名、入職者のご家族 7 名、施設職員等関係者が 73 名、計 287 名が一同に会し、入職者へのお祝いと激励の場とさせて頂くことができました。

山岸会長の開会挨拶に続いて、後援していただいた京都市の門川大作市長からご祝辞をいただき、嵐山寮の木田さんと京都福祉サービス協会の大谷さんが入職者を代表してお礼の挨拶をいたしました。

その後は、突然の障害と向き合い、気管切開をされたにもかかわらず、前例がなければつくればよいとスピーチカニユーレで歌われる声楽家 青野浩美さんの感動的な記念講演に、多くの参加者が涙しました。

そして、水内総務委員長の市老協の概要報告の後に、市老協の独自の取り組みであるハートメッセンジャー（介護職の広報担当者）のコーラス隊が、シンガーソングライターの堀内圭三さんに作詞作曲していただいた歌「ハートメッセンジャー」などを堀内さんと一緒に合唱し、来場者とともに「ふるさと」を歌って、河合副会長の閉会挨拶でお開きとなりました。

写真は、門川大作京都市長から熱い激励のお言葉を頂いたあと、記念撮影させて頂いた際のものであります。門川市長をはじめ、ご来場いただきました皆様、誠にありがとうございました。